

平成 30 年度 第2回北海道地域学校協働活動推進協議会兼コーディネーター等協議会
実施要項（道南会場）

- 1 趣 旨 専門的な演習や講義により、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動を推進する人材の資質向上を図るとともに、他市町村との情報交流を通して、地域学校協働活動等の一層の充実を目指す。
- 2 主 催 北海道教育委員会・北海道
- 3 主 管 渡島教育局・渡島総合振興局保健環境部
- 4 日程会場 平成 30 年 10 月 19 日（金） 函館市（渡島合同庁舎）
- 5 参加範囲 全道とする
- 6 参加対象
 - ・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾の各事業で活動している方（学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーター、放課後児童支援員、行政職員等）
 - ・教職員、PTA、ボランティア活動を行っている方
 - ・北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方
 - ・上記以外で教育支援活動に関心のある方（どなたでも参加可能）

7 日 程

9:45		10:00	10:15	10:45	12:00	13:00	14:15	15:30
受付	開会	(ア) 説明	(イ) 事例発表	(ウ) 講義	昼食 休憩	(エ) 演習	(オ) 演習	閉会
				(カ) コーディネーター等協議会		(カ) コーディネーター等協議会		

8 内 容

- (ア) 説明「一体型・連携型の放課後児童クラブ、放課後子供教室について」
説 明：学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ主査 石 田 貴 宏
※放課後子供クラブ・放課後子供教室の取組の状況等について知る。
- (イ) 事例発表「一体型・連携型の放課後児童クラブ、放課後子供教室の取組について」
発表者：未定
※一体型・連携型の放課後子供クラブ・放課後子供教室の教育支援活動の事例を報告することにより、今後の活動の一層の充実を図る。
- (ウ) 講義「子どもの貧困の状況及び北海道の対策について」
講 師：北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課自立支援グループ主査 嘉多山 裕 史
※子どもの貧困状況について理解を深めるとともに、今後の取組の方向性について学ぶ。

(エ) 選択研修

A 演習「自然体験・外遊びを促すプログラム」

講師：道立青少年体験活動支援施設ネイパル森社会教育主事 石山 浩 幸
※子どもが外であそびたくなるようなしなかけを、事例を体験しながら考える。

B 演習：「いろいろな文化体験プログラム」

講師：檜山教育局教育支援課社会教育指導班主査 安間 邦 雄
※昔遊びをはじめとした、手軽にできる創作活動を体験する。

(オ) 演習「子どもたちの学びと育ちを分かち合う地域学校協働活動」

進行：渡島教育局教育支援課社会教育指導班 佐々木 智 史
※参加者相互の情報交流を行います。

(カ) コーディネーター等協議会

講師：学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ主査 石田 貴 宏
※コミュニティ・スクール及び地域学校協働を推進する推進員、コーディネーター、推進員、地域連携担当教職員に必要な知識や技術について、実践例を参考に協議を行う。

9 その他

(ア) 本研修会は、道民カレッジ連携講座です。カレッジ手帳をお持ちの方は、当日御持参ください。当日の入学も受け付けます。

(イ) 託児を希望される方は、別紙「託児申込書」を参加申込書と一緒に提出してください。また、当日は、次のものを御用意ください。

- ①おむつ ②おしりふき ③着替え ④バスタオル ⑤昼食（哺乳瓶を含む）
⑥飲み物 ⑦おやつ

※ 託児申込書を提出後、キャンセルする場合はお早めにご連絡ください。

(ウ) 動きやすい服装・靴でお越しください。また、主催者側で保険には加入しませんので、必要に応じて、レクリエーション保険等に加入することをお勧めします。

(エ) 研修会で撮影した写真については、道教委 HP や報道等で活用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

10 会場へのアクセス



函館バス① 所要時間約 30 分

函館駅前～五稜郭～（美原台経由）昭和ターミナル行き～美原4丁目（渡島合同庁舎前）バス停下車

函館バス② 所要時間約 35 分

五稜郭駅前～昭和～昭和ターミナル～亀田支所バス停下車徒歩10分

函館バス③ 所要時間約 35 分

五稜郭駅前～ガス会社前～五稜郭～亀田支所バス停下車徒歩10分

〈問合せ先〉 渡島教育局教育支援課社会教育指導班

担当：風間・佐々木 電話 0138 (47) 9586